

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 17 年 3 月 10 日 (2005.3.10)

【公開番号】特開 2002-224328 (P2002-224328A)

【公開日】平成 14 年 8 月 13 日 (2002.8.13)

【出願番号】特願 2001-30330 (P2001-30330)

【国際特許分類第 7 版】

A 6 3 F 7/02

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 7

A 6 3 F 7/02 3 1 3

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 4 月 2 日 (2004.4.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技球が所定の入賞部に入賞した場合に、変動入賞装置の可動部材を開閉動作させる補助遊技を実行し、該補助遊技において変動入賞装置に受け入れられた遊技球が特定の入賞部に入賞したことに基づいて可動部材を複数回開閉動作させる特別遊技を発生させる遊技機において、

前記特別遊技中に前記所定の入賞部への遊技球の入賞が発生した場合に、始動入賞を記憶する始動入賞記憶手段を備え、

前記変動入賞装置は、前記特定の入賞部を閉塞状態または閉塞状態を解除した状態となるように構成され、

前記特別遊技が終了したときに、前記始動入賞記憶手段に始動入賞の記憶がある場合には、該始動入賞記憶手段の記憶に基づき、前記変動入賞装置の特定の入賞部を閉塞状態にして補助遊技を実行する特別遊技発生不能補助遊技制御手段を備えることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記特別遊技発生不能補助遊技制御手段による特別遊技発生不能補助遊技の期間中に、前記所定の入賞部への遊技球の入賞が発生して前記始動入賞記憶手段により始動入賞が記憶された場合には、該始動入賞に基づいて通常の補助遊技を特別遊技発生不能補助遊技の終了後に行う構成とし、

前記通常の補助遊技を、前記変動入賞装置の特定の入賞部を閉塞状態を解除した状態にして行うことを特徴とする請求項 1 記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

本発明は、遊技球が所定の入賞部に入賞した場合に、変動入賞装置の可動部材を開閉動作させる補助遊技を実行し、該補助遊技において変動入賞装置に受け入れられた遊技球が特

定の入賞部に入賞したことに基づいて可動部材を複数回開閉動作させる特別遊技を発生させる遊技機に関する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

【課題を解決するための手段】

上記目的達成のため、請求項1記載の発明は、遊技球が所定の入賞部に入賞した場合に、変動入賞装置の可動部材を開閉動作させる補助遊技を実行し、該補助遊技において変動入賞装置に受け入れられた遊技球が特定の入賞部に入賞したことに基づいて可動部材を複数回開閉動作させる特別遊技を発生させる遊技機において、

前記特別遊技中に前記所定の入賞部への遊技球の入賞が発生した場合に、始動入賞を記憶する始動入賞記憶手段を備え、

前記変動入賞装置は、前記特定の入賞部を閉塞状態または閉塞状態を解除した状態となるように構成され、

前記特別遊技が終了したときに、前記始動入賞記憶手段に始動入賞の記憶がある場合には、該始動入賞記憶手段の記憶に基づき、前記変動入賞装置の特定の入賞部を閉塞状態にして補助遊技を実行する特別遊技発生不能補助遊技制御手段を備えることを特徴とする。

ここに、特別遊技が発生不能な特別遊技発生不能補助遊技とは、特別遊技（例えば、大当り）が全く発生することのない（大当りの発生を禁止した）補助遊技のことであり、特別遊技が発生する割合がゼロというものである。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

請求項1に従属する請求項2記載の発明は、前記特別遊技発生不能補助遊技制御手段による特別遊技発生不能補助遊技の期間中に、前記所定の入賞部への遊技球の入賞が発生して前記始動入賞記憶手段により始動入賞が記憶された場合には、該始動入賞に基づいて通常の補助遊技を特別遊技発生不能補助遊技の終了後に行う構成とし、

前記通常の補助遊技を、前記変動入賞装置の特定の入賞部を閉塞状態を解除した状態にして行うことを特徴とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の実施の形態をパチンコ遊技機に適用した例について説明する。

最初に、大当りの発生を規制する（大当たりさせない）補助遊技を実行する発明（以下、発明 A という）の実施の形態から説明する。以下に説明する第 1 の実施の形態乃至第 3 の実施の形態は、基本的に発明 A を具体的に実現する実施の形態である。

なお、後述の第 4 の実施の形態以降では、大当りの発生を抑制する（大当たりしにくい）補助遊技を実行する発明（以下、発明 B という）を実現する実施の形態について説明することになる。発明 B は、基本的に請求項 1 記載の発明に対応するものである。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

< 本発明の第 1 の実施の形態 >

まず、発明 A を具体的に実現する本発明の第 1 の実施の形態から説明する。

A. 遊技盤の構成

図 1 はパチンコ遊技を行う遊技機の遊技盤 1 を示す正面図である。図 1 において、遊技領域の周囲にはレール 11 が配置されており、レール 11 内側のほぼ中央部には変動入賞装置 12 が、この変動入賞装置 12 の左右側方には一般入賞口 13、14 が、変動入賞装置 12 の直下には 2 回開きの第 2 始動入賞口 15 が、第 2 始動入賞口 15 の左右には 1 回開きの第 1 始動入賞口 16、17 がそれぞれ配置されている。

この場合、第 2 始動入賞口 15（所定の入賞部）に球が入賞すると、変動入賞装置 12 の可動部材（可動片：いわゆる羽根部材）12a、12b が 2 回開閉動作し、第 1 始動入賞口 16、17（所定の入賞部）に球が入賞すると、変動入賞装置 12 の可動部材 12a、12b が 1 回開閉動作するようになっている。

また、詳細は後述するが、第 1 始動入賞口 16、17 あるいは第 2 始動入賞口 15 への入賞があった場合、4 個の範囲内で始動記憶されるようになっているが、その始動記憶に基づいて可動部材 12a、12b が 1 回あるいは 2 回開閉動作する。

各始動口 15、16、17 に球が入賞することによって変動入賞装置 12 の可動部材 12a、12b が開閉動作する状態は、補助遊技状態に相当する。また、変動入賞装置 12 の可動部材 12a、12b が開閉動作する遊技は、補助遊技に相当する。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0024】

（2）表示領域 53b

始動記憶の 1 つ目（以下、記憶 1）の表示領域であり、点灯することにより始動記憶が 1 個である状態を報知する。

（3）表示領域 53c

始動記憶の 2 つ目（以下、記憶 2）の表示領域であり、点灯することにより始動記憶が 2 個である状態を報知する。

（4）表示領域 53d

始動記憶の 3 つ目（以下、記憶 3）の表示領域であり、点灯することにより始動記憶が 3 個である状態を報知する。

(5) 表示領域 5 3 e

始動記憶の 4 つ目 (以下、記憶 4) の表示領域であり、点灯することにより始動記憶が 4 個である状態を報知する。

表示領域 5 3 b ~ 5 3 e の左側部には、それぞれ「 1 」 ~ 「 4 」の数字があり、これらの数字は始動入賞の記憶数 (1 ~ 4 個) に対応させて表示するものである。

【 手続補正 1 0 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 5 2

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 0 0 5 2 】

このように、特別遊技発生不能補助遊技期間中は特定の入賞部 6 3 の入口が閉塞状態に制御されて特定の入賞部 6 3 への入賞が規制 (物理的に入賞しない) されるので、仮に単に特定の入賞部 6 3 の機能を無効にただけの場合、特定の入賞部 6 3 として用いられる入賞部へ球が入賞したとしても入賞が無効で特別遊技が発生しないが、遊技者に見れば、特定の入賞部 6 3 へ球が入賞したのを見たので当然特別遊技が発生するものと思ってしまう、遊技店とのトラブルが発生する恐れがあるが、特別遊技発生不能補助遊技期間中に特定の入賞部 6 3 への入賞を物理的に規制することにより、特定の入賞部 6 3 へ球が入賞することが無く、遊技者と遊技店とのトラブル発生を防ぐことができ、遊技者へ不信感を与えにくいという効果がある。

【 手続補正 1 1 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 6 6

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 0 0 6 6 】

そして、この一度の特別遊技発生不能補助遊技期間に可動部材 1 2 a、1 2 b の開放動作が 1 回行われた時点では、図 6 (d) に示すように始動遊技制御情報表示部 3 0 0 における始動記憶状態情報報知器 5 2 が第 1 の色彩で点灯し、特別遊技が発生しない特別遊技発生不能補助遊技が実行されていることを報知するとともに、始動記憶内容報知器 5 3 の表示領域 5 3 b が格子状の模様を有する表示態様 y で点灯し、残りの始動記憶が 1 個であることを報知し、さらに始動入賞累積記憶報知器 3 0 1 の丸型表示器が 1 個だけ点灯し可動部材 1 2 a、1 2 b の開放動作の累積数が 1 つであることを報知する。なお、開始タイミング報知器 5 1 は「 S 」の表示態様であり、特別遊技が発生不能な特別遊技発生不能補助遊技期間中での可動部材 1 2 a、1 2 b の開放制御が行われていることを報知する。

【 手続補正 1 2 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 7 6

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 0 0 7 6 】

記憶補助遊技制御手段は、始動入賞記憶手段の記憶に基づき可動部材 1 2 a、1 2 b を動作させる補助遊技を実行する。特別遊技抑制補助遊技制御手段は、特別遊技のサイクル単位での継続が満了又は消滅したときに、始動入賞記憶手段に始動入賞の記憶がある場合には、始動入賞記憶手段の記憶に基づき特別遊技が発生し難い抑制補助遊技を実行する。

また、特別遊技抑制補助遊技制御手段は、特別遊技抑制補助遊技の実行期間中は特定の入賞部 (V 入賞口) 6 3 への入賞を抑制する制御を行う。

ここで、特定の入賞部 (V 入賞口) 6 3 への入賞を抑制する制御とは、例えば通常の補助遊技では開放しっぱなしの特定の入賞部 (V 入賞口) 6 3 を特別遊技抑制補助遊技の際には閉塞したり開放したりを繰り返すとか、あるいは乱数を用いた抽選方式とし、当たり乱

数を引けば通常の補助遊技と同じ状況下で遊技を行え、外れ乱数を引いた場合には通常の補助遊技と異なり、特定の入賞部（V入賞口）63を閉塞したりする等を行うものである。要するに、通常の補助遊技と比較して、特定の入賞部（V入賞口）63へ入賞し難くなる制御を行うもので、V入賞しにくくするのを「抑制」という制御形態にしている。

第4の実施の形態では、特別遊技抑制補助遊技の制御に際して乱数を用いた抽選方式（当たり乱数の割合を極端に低くしている）を採用し、特定の入賞部（V入賞口）63へ入賞し難くしている。

【手続補正13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0081

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0081】

このように、抑制補助遊技期間中は特定の入賞部63の入口の開放/閉塞が乱数を用いて制御されて特定の入賞部63への入賞が抑制（物理的には入賞可能であるが、入賞のチャンスが少ない）されるので、特定の入賞部63へ球が入賞するチャンスが全く無くなるのではなく、大当りの発生を単に抑制するだけであるから、このような大当りの抑制について、遊技者と遊技店とのトラブル発生を防ぐことができる、遊技者へ不信感を与えにくいという効果がある。

【手続補正14】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0093

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0093】

【発明の効果】

本発明によれば、特別遊技が終了したときに、始動入賞記憶手段に始動入賞の記憶がある場合には、該始動入賞記憶手段の記憶に基づき変動入賞装置の特定の入賞部を閉塞状態にして補助遊技を実行するので、大当たりが連続発生することを抑制することができ、過度な射倖性を抑えることができる。一方、大入賞口に入賞させることによる賞球獲得のチャンスまでも無くしてしまうということはしないので、遊技者にとって損となる状態を防ぐことができる。

【手続補正15】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0094

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正16】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0095

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正17】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0096

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 18】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0097

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 19】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0098

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 20】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0099

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 21】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】100

【補正方法】削除

【補正の内容】